

冒険心が飛翔する“100人の戯空間” **ウイングフィールド**  
 〒542-0083 大阪市中央区東心齋橋2-1-27 周防町ウイングス6F  
 TEL(06)6211-8427 FAX(06)6211-6312  
 ウイングフィールド公式サイト URL <http://www.wing-f.co.jp>

ウイングカップ7参加作品  
 作・演出／ながたゆうか

**WINGCUP**

1/8(日) 2:00  
 6:00 **「ハローワールド、私の世界を愛してる」**

9(月・祝) 12:00  
 4:00 出演／MEHEM

料金／一般前売 2,000円 一般当日 2,500円  
 高校生以下 1,000円 (要学生証)  
 三人割 5,400円 (3名様での料金)

ウイングフィールド提携公演  
 構成・演出／中川千寿 振付／北村成美

13(金) 7:30  
 14(土) 2:00  
 5:30 **「Bon Voyage**  
**～ブルーバード観光で行く、秘境・パワースポットと温泉の旅～」**

15(日) 11:30  
 3:00 出演／たなぼた × 北村成美コラボ企画

料金／前売 2,500円 当日 2,800円  
 高校生以下 前売 1,000円 当日 1,300円 (要学生証)

ウイングカップ7参加作品  
 作・演出／小山雄太

**WINGCUP**

21(土) 3:00  
 7:00 **「今の所、べろべろガンキウ女。」**

22(日) 1:00  
 5:00 出演／べろべろガンキウ女

料金／前売 1,800円 当日 2,000円

ウイングカップ7参加作品  
 作／土田英生 (MONO) 演出／浜田崇史

**WINGCUP**

28(土) 3:00  
 7:00 **「その鉄塔に男たちはいるという」**

29(日) 2:00  
 6:00 出演／劇団祝人

料金／1,500円 (前売・当日共)

感無量寿経 その199

**5500公演への感謝**

福本 年雄

謹賀新年。昨年も皆様からお力添えをいただきました。御礼申し上げます。

お陰様でウイングフィールド (WF) は今春 25年目を迎えます。1992年のオープン以来のべ1600団体に約5500公演をしていただきました。この数をしっかり覚え、スタッフ一同初心にかえて微力乍ら大阪の現代演劇のお役に立てる様に努めて参ります。

この黒くて狭い箱は、あくまで創る演劇人と観て下さるお客様、外から支えて下さる方々があっはじめて演劇の場になります。

「場」とか「空間」というものが人と人が出会い交わるものだとしたら、誰かがそこをある目的の為の空間として認めるからこそ成り立ちます。皆様に認めていただかなければ、私がいくら「ここは小劇場です」と言っても誰も振り向かないでしょう。

WFが小屋、場として認められたのはオープン時にお迎えしていた演劇プロデューサー中島陸郎さんが、オレンジルーム (現・HEP HALL) 以来お付き合いのあった若い演劇人にお声をかけて公演していただく企画を打ち出したからです。氏がそれと共に新たに発見した劇団を招いて支援し続けたことがWFを小屋にしたのです。

ここで当時の私の狙いを明かしますと WFを始めるに際し中島さんに期待したのは看板になっていただくコトでした。演劇ド素人の私がライブハウスだの芝居小屋だのをやりたくてもノウハウも人脈

もない。ならばそれを持った人を呼ぼうとしたのです。自宅を改造し少なからぬ出費をするからは大物を迎えたい、木下藤吉郎が軍師に竹中半兵衛を招いた故事に習ったのです。という私の手柄の様に聞こえますが、当時別の場所から氏の名声にふさわしい安定したポジションへの招聘の声もあつたにもかかわらず私と組んでくださった中島さんの決断あつての事で未だ頭が上がりません。

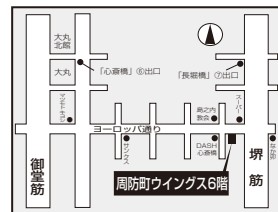
氏は何かと使い勝手の悪い箱を逆手にとって創造意欲あふれる演劇人を刺激しようとあれこれ仕掛けました。それに応えた人達が次々と実験的・刺激的舞台を上演されました。創る人も小屋者も冒険、実験のスリルを味わい、そこから生まれた舞台を見て演劇に目ざめた方—自分もやりたいと上演する方、制作者になった方、良い観客であり続ける方—がWFを育て小屋にして下さいました。使われてこそ小屋になるのです。

言う迄もなくそれらの方達は、自分の意志で演劇することに立ち向かわれたのです。誰かが育てたのではなく自分の力で闘って。せいぜい小屋者に来るのは、少しでも創る側の応援をすることでしかないと思います。

冒頭に WFは初心にかえると書きましたが、改めてここをWFにくださる各世代の方々の伴走者でありたい。刺激してみたい。

時代は変ってゆくけどディランは歌っています。若い時の私は歌詩を上世代に向けて心の中で叫んでいました。今は逆に言われる齢になりました。WFが出来た年に生まれた方、それより若い方もやって来ます。公私とも色々を経て、あのころより自由になったかも知れない私は、若者の邪魔ばかりせず若者の意欲を楽しみ応援したいと願っています。

そして終わりの日のコトを意識しながらもいけるところまで芝居小屋としてあり続けたいと強く思っています。何より皆様に新年が実りある歩みでありますように！  
 (ウイングフィールド代表)



次代を担う表現活動を、微力ながら支援します。  
 すおうまち **周防町ウイングス**